

気仙沼の味覚と出逢う「網元の宿」
(被災中小企業施設・設備整備支援事業)

りよかん いそむら
有限会社 旅館 磯村

事業概要

当社は昭和45年に南気仙沼地域で「和風ホテル磯村」を開業以来、40年以上にわたり多くの観光客・地元住民に愛されてきました。しかし、平成20年に現社長が先代社長から経営を引き継いだのも束の間、平成23年の東日本大震災による津波で旅館が全壊し休業を余儀なくされました。休業中、社長ご夫妻は都内の学生寮で寮長・寮母として約3年半勤務しましたが、両親の介護等もあり気仙沼に帰郷されました。一時は「復旧断念」の言葉が社長の頭をよぎったものの、旅館再生を手掛けるコンサルティング企業で経営ノウハウを学んだ三男・健作氏の強い希望により再建を決意。経済産業省のグループ補助金とともに、[被災中小企業施設・設備整備支援事業](#)を利用して旅館を再建し、平成30年8月に「網元の宿 磯村」として念願のリニューアルオープンを果たしました。

「網元」とは漁網や漁船を所有する漁業経営者の意で、先代社長・現社長ともに網元の家系で生まれ育った事にルーツがあります。「食材の魅力をそのままに」をモットーに、気仙沼の海の幸を知り尽くした網元が提供する魚料理の数々は絶品であり、特に朝食は、「楽天トラベル朝ごはんフェスティバル2019」で宮城県第2位に選出されるなど好評を博しています。

客室数25室と決して大きな宿ではありませんが、小さな旅館だからこそできる細やかな気配りとおもてなしを大切にしており、地元の方、観光の方問わず、気軽に立ち寄れる居心地の良い空間を意識して日々営業を行っています。

事業者の声

お陰様で今年8月には再建3周年を迎えます。

コロナ禍の中ではありますが、だからこそゆっくり静かに旅行したいというお客様も増えてまいりました。気仙沼の海の幸を取り揃え、皆様のお越しをお待ちしております。

事業者概要

代表者：加藤 由紀

住所：気仙沼市幸町4丁目1番31号

電話：0226-24-1133

E-mail：info@hotel-isomura.com

URL：http://www.hotel-isomura.com/

従業員数：15名

事業内容：旅館業



外観と一番人気の会席コース

[被災中小企業施設・設備整備支援事業](#)は、グループ補助金等の認定を受け、復旧・復興を目指す中小企業者の方等に対し、復旧資金の無利子貸付を行う事業です。